



笠間市立笠間小学校
 学校だより「時習館」
 令和7年9月19日(金)
 第13号

臨時の学校運営協議会を開催しました。

9月3日〔水〕、臨時の学校運営協議会を開催し、今後の運営等について話し合いました。その時の話合いの内容を報告いたします。

【今回の話合いのテーマ】

- これまで学校でのイベント(町探検、学習支援)の際に、保護者にボランティアを募集して児童の引率や安全見守りの協力を依頼してきたが、学校運営協議会として持続可能なボランティア型の組織を作り、学校を支援できる活動を考えていきたい。どのように進めていくことができるか。

【協議でのご意見など】

- 「学校は敷居が高い」と思っている方が多い。「ボランティア募集」は固く捉えがちで、なかなか人が集まらないのではないか。
- 学校からの要望として学校運営協議会に出してみた内容は、「粗大ゴミ運搬、清掃、樹木の剪定・消毒、建具の調整、おま森のジャンボ滑り台の補修、学習支援(金づち、ミシン、のこぎり、そろばん、調理実習等)、スナッグゴルフ指導、遊びの安全見守り、など」である。ボランティア組織が定着して、地域の方々のお力をいただけると有難い。
- 「サークル、部活」として、「自分の好きなことをやる集まり、〇〇好き集まれ」という風に募集の仕方を変え、まず保護者から、そしておじいちゃん・おばあちゃん、地域の方へ人の輪を広げていければ、持続可能な組織になるのではないか。
- 笠間小を卒業したら終わりではなく、OB・OGも参加できるようにしていけるほうがよい。
- 既存の組織「笠小まもローズ」を活用してはどうか。そこから広げていくのがよいのでは。



【今後について】

- 近いうちに、既存の組織である「笠小まもローズ」の集会をもち、話合いをしていくことにしました。

😊😊😊😊😊 「いばらき輝く教師塾」 😊😊😊😊😊😊😊😊😊😊

9月10日(水)、「いばらき輝く教師塾(茨城県教育研修センター主催)」が行われ、笠間市内の小・中・義務教育学校、高等学校、特別支援学校で将来教師を目指す学生達が一日教師体験をしました。本校にも大学生16名と高校生1名が参加しました。朝から夕方まで各学級に入って、担任教師の手伝いをしたり、休み時間に子ども達と一緒に遊んだりしました。子ども達も未来の先生と楽しい時間を過ごし、別れを惜しんでいました。学生代表の方の最後の挨拶では、「今日一日の体験で、教師になる決意を固めました。」という言葉があり、大変うれしく思いました。今、日本の教育界では「教師不足」が深刻な問題になっています。県内でも教員定数を満たすことができない学校がいくつもあり、教務主任や教頭先生が学級担任を代行している状況も散見されます。働き方改革を一層推進するとともに、教師の魅力(働きがい)も積極的に発信しながら、さまざまな機関と連携して教職員の確保に努めていきたいと思ひます。



👧👧👧👧👧 あいさつ運動・学級リレー形式でスタート！ 👧👧👧👧👧👧👧👧👧

9月16日(火)から、子どもたちによる「あいさつ運動リレー」がスタートしました。毎日、学年の異なる2学級の子どもたちが、「おはようございます!」と元気な声を響かせてくれています。連日の暑さのためか、登校する子どもたちの表情には、やや疲れが見え隠れしていますが、元気なあいさつで、残暑(酷暑?)に負けない元気な笠小っ子を増やしていきたいと思ひます。ご家庭でも、「行ってきます!」「いってらっしゃーい!」「ただいま!」「お帰りなさい!」の声を大切にしてくださいよう、よろしくお願ひします。

